

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第2325回

平成18年8月1日(火) 晴(本年度 第5回)

会長報告

丸山隆志

先週の行事について

● 7/29 PM1:30 ロータリー財団ブロック対応会議(第1・第2ブロック)

● 7/31 PM6:00 鶴岡4RC合同事務局運営会議

躰(しつけ)

『躰』という言葉は『身体へん』に美しいと書く、見事に表現されている漢字ですが、最近では体質が古いとか、頑固とか封建的な考え方と言われかねなくなりました。

『基本的な生活習慣を身につけておくこと』は大切です。それは『躰』とも言い換えられます。箸の持ち方や洋服の着かたはもちろん、食事中に立ち歩かないことや目上の人のお話は聞く、ということもこの基本的な生活習慣に当たります。これはまさしく『躰』であって家庭の責任です。『躰』には、強い愛情とスキンシップが必要です。親が愛情をもってお尻をたたいて身体で覚えさせることが重要ですが、最近の親は嫌われたくないらしく優しくしてしまうため、そういう行為が敬遠されています。

当然、友達感覚の親子が出現し、子どもの数が圧倒的に少ないので、一人の子どもに両親と二人の祖父母、大人6人が甘やかし放題に甘やかせてしまう。普段同居していない祖父母の場合は、嫌われたら大変とばかり子供のいいなり、何でも買い与えてしまう傾向があるようです。そして当然我儘放題に育つ。甘えて育てられた子供の特徴は普段自分の思い通りになっていると実に明るく素直な良い子だが、自分の思い通りにならないと、大声をあげたり乱暴な行動で手こずらせる。

そこで7つの呼びかけをしましょう。

- ・毎日きちんと挨拶をさせよう
- ・他人の子供でも叱ろう
- ・子供に手伝いをさせよう
- ・ねだる子供に我慢をさせよう

- ・目上の人を敬う心を育てよう
- ・体験の中で子供を育てよう
- ・子供にその日のことを話させよう

北朝鮮のミサイル発射問題について

会員スビーチ

後藤 順一



今回の日本の危機管理対応について、問題の一つは、7月5日、政府が一発目発射の連絡を受けた後、各自治体に情報を流すまで3時間もかかり何の指示もなかったことです。もう一つは、小泉首相のアメリカ訪問です。いつミサイルが発射されてもおかしくない最中、予定通りアメリカへ行きました。日米首脳会談の延期は北朝鮮の脅しに屈服するもので、訪問を延期する選択肢は元々なかったかもしれません。勿論、政府内で検討した上での出発だったと思われませんが、どこまで危機意識を持っていたのか疑問を感じます。

アメリカも今や危機管理では頼れなくなったということを感じておく必要があると思います。今回、北朝鮮側から見るとミサイル発射にまたとない機会でしたが、アメリカから7月5日は要注意だという話はありませんでした。アメリカの判断に誤りがあったのではという声がある一方、事前にロシアから情報が伝わっていて大した事はないと踏んでいたからではという声もあります。ただ、さすがに政治的な対応は素早い動きを見せました。ヒル国務次官補に中国・日本・韓国を東奔西走させて交渉に当たらせました。それに比べ、日本は国連の大島大使が目立っただけで、ヒル頼みと言うか独自に交渉するパイプやチャンネルを持ち合わせていなかったのが現状だったのではと思います。ロシアの政府高官も目立ちませんでした。北朝鮮へ説得に当たったのは中国だけで、ロシアは常に中国の背中に隠れていたという印象しかありません。初めてロシアで開くサミットの議長国として存在感を示すため、へたに動かない方が良いという判断だったように思えてな

